

図書館のサービス計画

公共図書館とは何をするとところかー

2010/10/10

東近江市立図書館長 巽照子

はじめに

『センス・オブ・ワンダー』

五感を育てる

1、『市民の図書館』とは

あらためて『市民の図書館』を検証する

2、図書館の法制度，政策をめぐる問題

社会情勢の変化の中での図書館をめぐる動き

3、ほんものの図書館(図書館サービス計画)

活字文化を大切にすると図書館づくり

想像する力、考える力

ほっとして、ほっこりする居場所づくり

・おもてなしの心を大切にする 市民の`広場`としての図書館

やさしさと美しさづくり

・自然にやさしい、自然と共生するまちづくり

・地域の人々の暮らしや精神生活が豊かになる

仕事においては美しさのものさしを、地域においては、豊かさのものさし

を、暮らしにおいては、幸せのものさしを

ほんものとの出会いづくり

・根のある暮らし まちづくりを進める市民が育つ図書館、

・子どもたちの手本になる生活づくり

・ 50 年、100 年先をみとおせるまちづくり、ひとづくり

政策(計画)づくり

本を読む 人と人を結ぶ 生きる力

民主主義の『知の砦』

・図書館の自由宣言 知る自由を保障し、利用者の秘密を守る

・住民の「自立支援」を支えるためにバランスの取れた情報環境をつくる

4、職員の働き 自立した職員と市民が協働して作っていくまちづくり

・まちの課題をさぐる

・地域の人々と繋がる

・元気に楽しく仕事する。

おわりに

- ・ よい仕事の間をつくること
- ・ よい居住環境を整えること
- ・ よい文化の間をもつこと
- ・ よい学びの間をつくること
- ・ よい仲間がいること
- ・ よい自然と風土を活かし大切にすること
- ・ よい行政があること

(結城登美雄・民俗研究家)

美しい村などはじめからあったわけではない。美しく生きようとする村は
美しくなるのである。 柳田國男(民族学者)

メモ ー